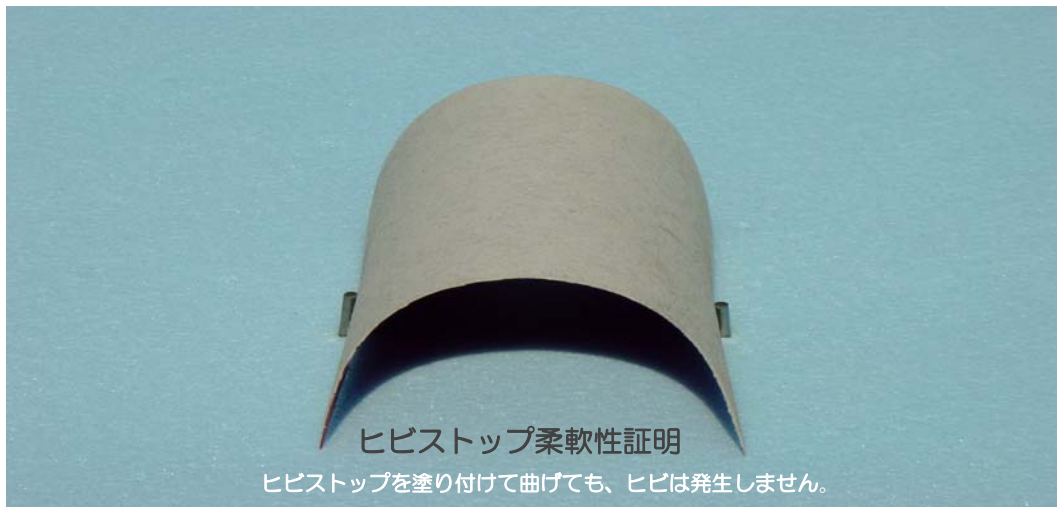


ヒビストップ

産学共同開発

【内・外壁用 下地処理材（クラック防止材）】

驚異の接着力と、しなやかさを兼ね備え、左官屋さんの夢と願望であった、湿式建材のヒビ割れ防止対策の下地材として、壁構造の間にヒビストップの弾性層を設ける事により、下地のあばれに対して追随性を発揮し、ヒビ割れを防止。しかも下地は選びません。



種類 荷姿, 標準加水量, 標準塗厚, 標準施工量

種類	荷姿	標準加水量	標準塗厚	標準施工量
①ヒビストップ/内外壁用（下地処理材）	10 kg入り粉袋	約 3 kg	約 1 mm	約 8 m ²
②ヒビストップ/専用（PB 継手パテ材）	1 kg入り粉袋	約 0.3 kg		約 30 m ²
③ヒビストップ/充填材（継手埋め材） ALC、サイディングボード下地	10 kg入り粉袋	約 2.5 kg	約 10 mm	約 50 m ²
④ヒビストップ/内外壁用（しっくい系下地処理材）	10 kg入り粉袋	約 3 kg	約 1 mm	約 8 m ²
⑤ヒビストップ/NHL 用専用下地材	10 kg入り粉袋	約 3 kg	約 0.5 mm	約 15 m ²
⑥ヒビストップ/NHL 用（PB 継手パテ材）	1 kg入り粉袋	約 0.33 kg		約 30 m ²
⑦ヒビストップアマ材（接着増強材）	10 kg入り粉袋	約 3 kg	約 0.5 mm	約 15 m ²
⑧スーパーヒビストップ（特殊下地処理材） 1 kg入りポンド	10 kg入り粉袋	約 2.5 kg	約 1 mm	約 8 m ²
⑨ヒビストップ仕上材（リニューアルフロア） 別紙カタログ	10 kg入り粉袋	約 2.5 kg	約 2 mm	約 5 m ²

標準塗厚、標準施工量はPBボード下地の場合です。下地材が異なりますと、塗厚、施工量とも変わります。

ヒビストップアマ材は下地のヒビストップと上塗材の間に塗り、上塗材の接着力増強と水持ちの良さで作業性を向上させます。

用途

- 湿式建材の内・外壁下地処理材。クラック防止材として。
- ビニールクロス、タイル、吹付けなどの上から、直接塗れるリニューアル下地材として。
- アスファルト、シート防水、発泡スチロールなどの上から、直接塗れる保護剤として。
- 床モルタル浮き止め材として。
- ALC・珪カル板・サイディングボードなどの目地充填材として（ヒビストップ・充填材）
- 壁面の保水接着剤として。
- 作業性能の向上として。

ヒビストップが接着する下地

石膏ボード・ALC・珪カル板・サイディングボード・ベニヤ・コンパネ・ラスモルタル・PC板・フレキシブルボード
 ガラス・アクリル板・ビニールクロス・発泡スチロール・ブロック・レンガ・鉄・ステンレス・アルミ・銅板・FRP
 アスファルト・ゴム・タイル・吹付けタイル・石材・木材・コンクリート・モルタル・ラスカットボードなど

施工器具

- 左官コテによる塗り付け。**※注：吹き付け施工は、弾性性能が失われるので否**



混練方法

■ 混練方法 清水を混ぜるだけ。すぐにご使用になれます。

- ① ヒビストップ粉末をパール缶やコネダル、ミキサーに移し、空練りを行って下さい。
- ② 空練りしたヒビストップに、標準加水量の約90%の清水を入れ、ダマが残らないよう充分攪拌する。
- ③ 残りの清水を加え、作業軟度にして塗り付ける。
 ※ヒビストップはコネ置きすると固くなるので、標準加水量にかかわらず時々加水して下さい。



荷姿

推奨 基本は1回塗りですが、重ね塗り（2回塗り）すると、より効果を発揮します。

壁面にヒビストップ材を塗り付け**必ず乾燥後**、さらにもう1度ヒビストップ材を全面に重ね塗りすることにより、よりヒビ割れ防止効果を発揮します。

適用下地と施工手順

適用下地 手順	石膏ボード	コンパネ・ベニヤ	サイディングボード	コンクリート	珪カル板 ALC	ラスカットボード	フェルト貼り
継手処理	継手埋め	アク止め	継手埋め	清掃	ハイフレックス	継手埋め	サドモルタル
下地処理	継手部分 7セ目地テープ貼り	継手埋め			1:3塗布 ※継手埋め ノンクラックネット	7セ目地テープ貼り	サドモルタル
		7セ目地テープ貼り	7セ目地テープ貼り				
ヒビストップ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※ ALCの継手埋めは下記施工手順による。

○ 石膏ボード下地 施工手順 【右図参照】

- ① 養生後、継手埋めは「ヒビストップ・専用パテ材」を使用する。
- ② 継手部分・乾燥後、7セ目地テープをボード継手、切付、角部に貼る。
- ③ 全面に「ヒビストップ/内外壁用」をシゴキ塗りする。
- ④ 乾燥後、各種仕上げ材の塗り付けを行う。

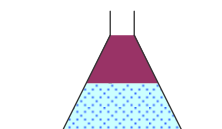
○ 内・外壁フェルト・ラス下地 施工手順 【右図参照】

- ① 養生後、フェルト・メタルラス張りの上に、モルタルか軽量モルタルでラスコスリを行う。
 ※水引き状態を見ながら、木コテで追い塗りをして表面を平滑に整えていただくことにより、中塗を省く事が出来ます。
- ② モルタル乾燥後、全面に「ヒビストップ」のシゴキ塗りを行う。
- ③ 乾燥後、各種仕上げ材の塗り付けを行う。

ALC継手部 施工手順

- ① コーキング後、継手部分に「ヒビストップ・充填材」を埋め込む。
- ② 継手部分にノンクラックネットを貼る。
- ③ 「ヒビストップ・内外壁用」を継手部分のみ塗る。
- ④ 壁面全体に、「ヒビストップ・内外壁用」を2回塗りする。

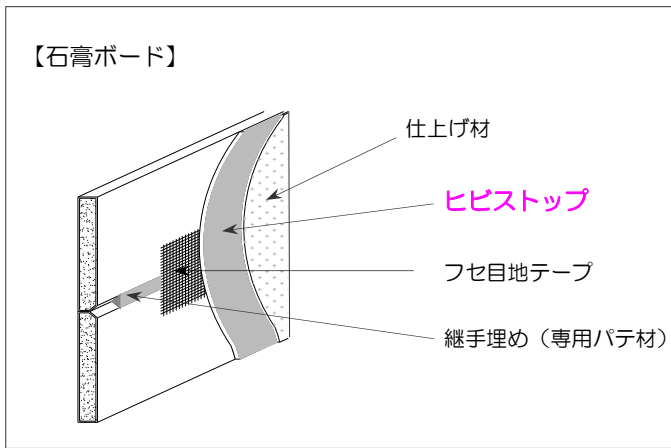
【継手部分】



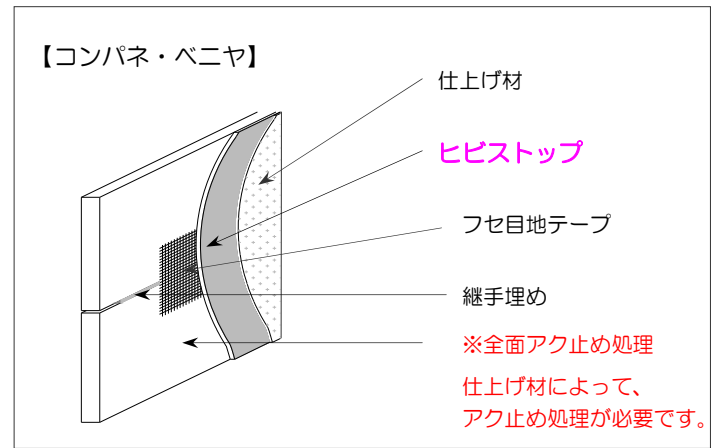
■ コーキング
 ■ ヒビストップ 充填材

・ヒビストップ・ALC工法は、手順を正しく守らないと、ヒビ割れの原因になります。

下地接合部の目地処理方法



※ PBの継手は「ヒビストップ・専用パテ材」をご使用ください。



リニューアルと手順

適用下地 手 順	ビニール クロス	タイル貼り	吹付けタイル	鉄 板	石 材
下地処理	タッカー止め	目地埋め (ヒビストップ)	清 掃	サビ落とし サビ止め 清 掃	目地埋め (ヒビストップ)
ヒビストップ 内外壁用	◎	◎	◎	◎	◎

※下地のビニールクロスなどの接着状態が悪い場合は、全面ネット貼りが必要です。

ノンホルムアルデヒド
改正建築基準法適合商品

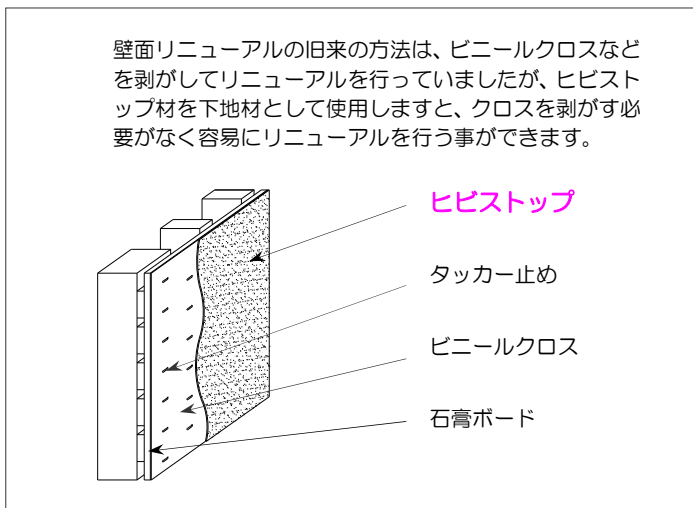
ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

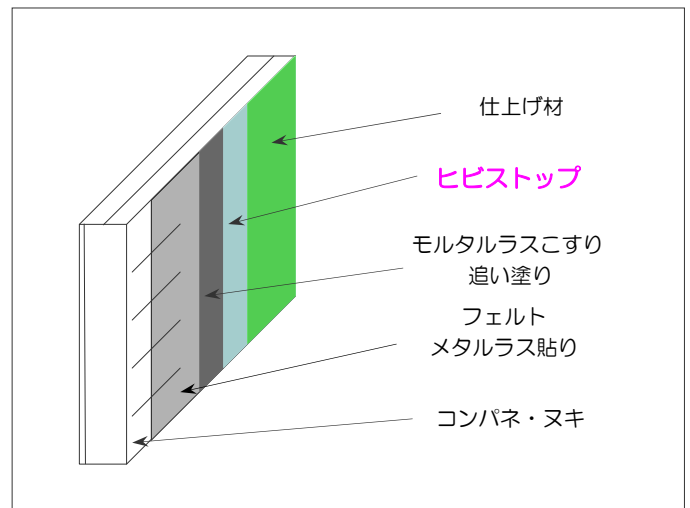
登録番号 0307135

日本建築仕上材工業会

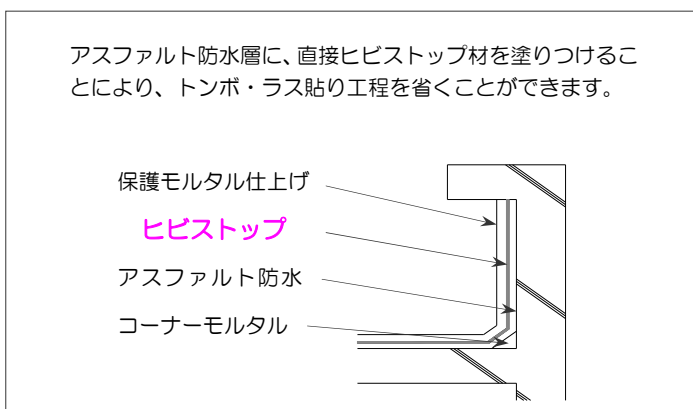
ビニールクロス下地 リニューアル施工手順



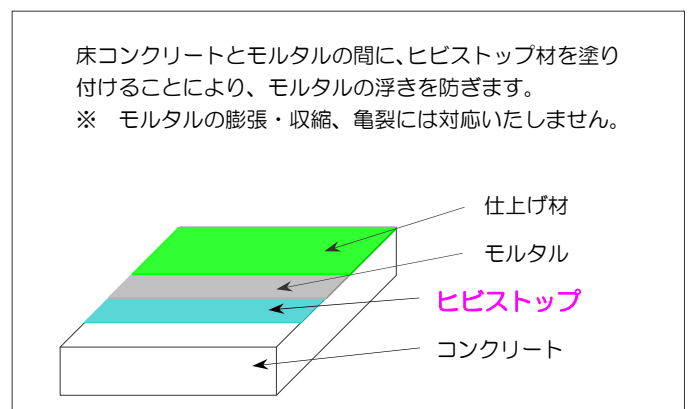
フェルト・メタルラス下地の施工手順



屋上防水・浴室・厨房・便所廻り施工手順



床モルタル浮き止め材としての施工手順



性能

項目	ヒビストップ種類	備考
	内外壁用	
圧縮強さ (kgf/cm ²)	240	JIS A 6203に準じる
下地との 付着強さ (N/mm ²)	コンクリート	2.41
	A L C	0.74
	石膏ボード	0.34
	ケイカル版	0.69
	コンパネ	1.62
	木 板	1.51
	御影石・大理石	2.53
	ステンレス	0.74
	ブ リ キ	0.65
	ルネックスボード・サイディングボード	1.30
	ガラス	1.36
プラスチック	0.21	
スタイロホーム	0.28	
耐 衝 撃 性	割れ・剥がれ無し	JIS A 6916に準じる

※測定値の低いものは、基板の応力不足により基板が破壊された時の数値です。

ご使用前に

- 天災（極度の地震や台風など）、構造上（地盤の軟弱な建物、揺れを起因する交通量の激しい道路に面した建物など）、木下地（コンパネ・ベニヤなど、乾燥不足による急激な収縮）、下地の結束不良等によるあばれ、異種な下地の継手など、下地のヒビストップ材には影響がなくても、仕上げ材に影響がでてヒビ割れする場合があります。
- ヒビストップ材の弾性性能には限界があります。又、ヒビストップ材は下地の不具合を補填するものではありません。
- 仕上げ材そのものによるヒビ割れには対応しません。

施工上の注意


- 仕上げ材を塗り付ける際は、必ずヒビストップ材・乾燥後に行なってください。
- 「ヒビストップ・内外壁用」は、急激に固まることがありますが、接着剤・3倍溶液を作業軟度に合わせ混入し攪拌すると、長時間作業軟度を保つことができます。
- 施工箇所廻りの木材などにも養生が必要です。
- 気温が5℃以下の場合は、施工を見合わせてください。
- 清水を加えたヒビストップ材は、夏場で1時間、冬場で2時間以内に使いきってください。
- ヒビストップ材使用后、道具類・衣服についた汚れなどは、速やかに洗い流してしてください。
- 施工の際は、必ず塗り厚・手順等を守って施工してください。

安全上の注意

- 本品が誤って、目、鼻、口、喉に入った際には速やかに清水で洗浄してください。
また、状況に応じて医師の診断を受けてください。
- 取り扱いの際には、状況に応じて適切な保護具を着用してください。
- 配送や保管にあたってはセメントと同様とし、水濡れ、湿気等には十分ご注意ください。
- 本品を廃棄する場合は、産業廃棄物として適切な処置をしてください。

【本カタログの内容は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください 1802号】

【製造・販売元】

 西澤工業株式会社

〒370-0801

群馬県高崎市上並榎町445番地

TEL 027-362-6234（代表）

FAX 027-362-6462

E-MAIL tuchikabe@nishizawakk.co.jp

URL <http://www.nishizawakk.co.jp>